

活動情報

TEL 0930-23-4215 FAX 0930-23-8290
E-mail keichiku-dlc@pref.fukuoka.lg.jp
園芸畜産課 花き畜産係

No. 14 (令和3年1月27日)

盆用花きの作付けが始動

～ホオズキ苗定植とシンテッポウユリ播種～

京築地域では、県内一の生産を誇るホオズキやケイトウのほか、シンテッポウユリや、コギク等の盆用花きの生産が盛んで、早くも、令和3年度の出荷に向けた栽培が始まっています。

JA 福岡京築花き部会では、シンテッポウユリの共同育苗を実施しており、1月13日と20日に上毛町のJA育苗施設で生産者による播種作業が行われました。JA花き部会では、令和元年産から電熱線による温床育苗を導入し、良質苗の生産体制が整いました。普及指導センターでは、4月下旬の定植に向け育苗管理の徹底を支援していきます。

また、京築特産花きであるホオズキ苗（地下茎）の定植も1月中旬から下旬にかけて最盛期となっています。近年は、白絹病対策として土壌消毒の推進をしており、畝たて等の定植準備を前年の11月までに終える農家が多く、定植作業は順調に進んでいます。今後、3月にかけては、マルチからの芽出し作業等が行われるので、講習会等により適期管理を図っていきます。

京築地域は、夏季の貴重な露地切り花産地として市場から高く評価されており、盆や彼岸の需要を満たすためにも、一層の高品質安定生産が強く望まれています。普及指導センターでは、今後もホオズキやケイトウ、シンテッポウユリ、コギク等の露地花き生産の技術課題の解決により産地の維持強化と生産者の所得向上に向けた支援を行っていきます。



シンテッポウユリ共同育苗の様子



ホオズキ苗定植が最盛期